

あいち生物多様性企業認証制度及び認証企業の生物多様性保全活動を学ぶ現地視察会について

1 今年度の進捗状況

(1) あいち生物多様性企業認証制度

企業の生物多様性保全に関する取組を促進し、優良な取組が県内に広がることを目的として、優れた取組を実践している企業を認証する「あいち生物多様性企業認証制度」を2022年度から運用している。

今年度は14社から申請があり、外部有識者による審査会を実施した結果、優良認証企業として7社、認証企業として7社（計14社）を認証した。2024年11月13日（水）に認証式を開催し、愛知県知事から認証書の授与を行った。



※認証式の様子

制度の概要

対象：愛知県内に本社又は事業所を置く企業（企業全体又は事業所（工場・支店・支社営業所等）単位）

認証期間：5年間（5年毎に更新）

評価項目等：組織の方針・体制等に加え、戦略で企業に求めている四つの基本方針^(注)を踏まえた評価項目を設定。認証を受けるには、この評価項目において所定の基準を満たすことが必要

(注) ①（豊かな生態系を）まもる、②（生息生育空間を）つなげる、③（生きものの恵みを）つかう、④（人と自然との共生を）ひろめる、の四つの基本方針。

認証区分：①優良認証 広がり・継続性等有る特に優れた取組を実施

②認証 生物多様性保全に貢献する取組を実施

認証企業のメリット：愛知県産材を利用した認証書を授与

認証企業マークを名刺や会社案内などで使用可能

各認証企業の取組を県自然環境課のWebページで紹介

入札等における加点^{*}



認証マーク

<認証マークの趣旨>

いのち輝く青い地球を、両手で優しく包み込む様を描いたマーク。両手に見えた2つの図形は動植物など生命をイメージ。手と地球の間に「aichi」の頭文字「a」を表し、愛知の取組がグローバルにつながっていることを表現しています。グリーンからブルーへのグラデーションは、多様な生態系を育む水、緑、空を表すとともに、生物多様性を守り育む意識が未来へ伸びやかに育っていく願いを込めています。

※ 2025年4月1日以降：業務委託に係る総合評価競争入札及び企画競争（随意契約）

2026年4月1日以降：建設工事に係る入札参加資格審査

2024年度の認証企業：

<優良認証> 7社

愛三工業（株）、愛知製鋼（株）、大日本印刷（株）、中部電力（株）、（株）東海理化、トヨタ紡織（株）、（株）豊造園

<認証> 7社

（株）愛知銀行、愛日緑化造園（株）、コニックス（株）、日本郵船（株）名古屋支店、武蔵精密工業（株）、ライオン（株）名古屋オフィス、（有）ライフコーポレーション

※詳細な取組概要は、次頁のとおり。

【認証企業の累計数】

優良認証企業 28社

認証企業 39社 全67社

【認証企業の傾向】

業 種：製造業、建設業、造園業、エネルギー業界、金融機関、物流など

規 模：大企業から中小企業まで、工場単位の認証も有り

(2) 認証企業の生物多様性保全活動を学ぶ現地視察会

2022年度及び2023年度に認証を取得した企業の取組事例を他企業等が学べる現地視察会を開催した。

<開催内容>

プログラム (1)：東レ株式会社東海工場における生物多様性保全の取組事例紹介
東海工場内のビオトープ見学

プログラム (2)：中部国際空港株式会社の環境保全活動事例紹介
空港内制限区域における保全エリア見学

<参加者数>

39名（33社）



東レ（株）東海工場

中部国際空港（株）

2 今後の取組

○企業認証制度：申請企業の利便性向上のため、今年度中に申請に係る解説動画の作成・公表（3月中）を行う。